

銀行名	南都銀行
タイトル	三輪素麵を活用した地域の活性化
取組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・三輪素麵は、奈良の伝統産業として古くからの歴史がありながら、近年は消費者嗜好の変化や贈答市場の縮小等に加え、他生産地との競合により、ブランド力が低下し、生産・販売量は年々減少している状況でした。 <p>【商談会への出展支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・このような状況のなか、三輪素麵の伝統の技法と品質を確保、継承することを目的に約 80 名の生産者が加入する「奈良県三輪素麵工業協同組合」において、平成 26 年 4 月に首都圏への販路拡大方針が打ち出されたことから、弊行は約 1 万名のバイヤーが来場する「地方銀行フードセレクション 2014」（幕張メッセ、平成 26 年 11 月）への出展を提案。 ・大規模な展示会への出展経験が無い同組合を支援するため、弊行、奈良県よるず支援拠点が協働で、来場者に注目されるブースの作り方や効率的な試食の出し方などを指導。当日は 140 名のバイヤーと名刺交換を行い、商談に繋がった他、三輪素麵の P R ができました。 <p>【製販一体での取組と地域活性化へ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一方、同地の大手素麵販売会社 9 社が、一丸となって品質の向上、ブランド力の向上、販路拡大等に取組むことを目的に平成 27 年 1 月「奈良県三輪素麵販売協議会」を設立。 ・これを受け、弊行は同業界の取組みを地域の活性化に繋げることを目的に、奈良県三輪素麵販売協議会や奈良県三輪素麵工業協同組合、奈良県、桜井市との連携を進め、三輪素麵による地域活性化を目指す取組を開始。 ・平成27年3月、奈良県、桜井市、奈良県三輪素麵工業協同組合、奈良県三輪素麵販売協議会との共催で「三輪素麵による地域活性化セミナー」を開催し、関係者約130名が参加し地域活性化への意思統一を図った。 ・奈良県においても、地元事業者と弊行の働きかけにより、平成 27 年 5 月、三輪素麵のブランド力向上を目的に、組合等の支援に加え、ブランド化から販売促進まで、幅広く積極的に事業展開を図るため、庁内に部局横断のプロジェクトチームを設置し、「食の産業興し」として積極的な取組みを開始。 <p>【地理的表示保護制度 の活用】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 27 年 6 月、奈良県三輪素麵販売協議会と奈良県三輪素麵工業協同組合が共同申請者とし地理的表示（G I）取得にかかる申請を行い、弊行は、奈良県、桜井市とともに、申請にあたり協力。 ・今後、地元大学による三輪素麵レシピの開発や三輪素麵を提供する飲食店の出店支援などにも取り組む予定です。 <p style="margin-left: 40px;">地理的表示保護制度 品質、社会的評価その他の確立した特性が産地と結びついている製品について、その名称を知的財産として保護するもの。</p>